

ヘルパー奮闘記

認知症訪問介護

ヘルパーN



2 本日は初めてのデイサービスの日

今日は初めてのデイサービス。朝訪問し、まずは、更衣してもらうため話しかけるが、言葉が通じていない？更衣することを理解してもらえていません。

朝の仕事として、更衣してもらいデイサービスへのお迎えの時間までに階段を降りてもらわなければならない。

私たちヘルパーがお手伝いに来ていることも理解してもらえず途方にくれる…ヘルパー「今日はお出かけしますので、着替えて準備しましょう」

○さん「出かけるのだな」と、立ち上がり、ベッドからイスに腰掛ける。

そして、出かけることを忘れてしまう。またイスからベッドへ戻る。

もう一度、「出かけますよ」と声をかける。またベッドから椅子へ、椅子からベッドへ戻る…そんなことを4、5回繰り返す。

すると、「どこにも行かん!!!」と怒りのスイッチが入る。

5分ほどしてまた声をかけると

「これを着るのか?」と、やっと通じました。(汗)(;ロ)

そのやりとりの間に娘の姿が見えると、怒りが収まらなくなる。

こんなことを30分ほど繰り返し、やっと上着の更衣、リハビリパンツを交換にもおなじようなやりとりが始まります。

リハビリパンツの交換まで終わる頃には45分から1時間ほどの時間が超過している。

タイミングよく「トイレ」などと言われ、トイレの方へ歩き出すとチャンス!

そのままトイレの前に立ち、こちらですと横の階段を降りてもらおう。その頃にはトイレを忘れていた。

しっかり直立すると大柄な方で、階段を降りるとき、もしも踏み外したりしたらわたしも一緒に落ちるだろうな、などと思いながら一歩ずつ下へ降りていきます。

靴を履き玄関に腰掛け待っているとデイサービスの車がお迎えにくる。

すると○さん、さっきまでポケポケお爺さんだったのに、

デイの職員の顔を見て「車で来たか、ご苦労、ご苦労。」と…スタスタと車に乗り込む。

デイでは、他の人に迷惑かけずにおとなしくしていたそう…。

外では人格が変わるのか?不思議…。

3 奥さんの認知症



夕方お迎えの時間に訪問します。

すると、また娘の金切り声に驚く…どうされました?と話を聞くと、

「この人(母親)に買い物頼んだのに違う物買ってきて!!!」と、認知症のお母さんにどなりちらしている。お母さんは申し訳なさそうに娘に謝っている。

娘さんに、お母さんは、認知症の症状が少し進んでいるのではないかと買い物を一人で行ってもらうのはもう無理にではないですか?などと伝えるが、「甘やかしたら、もっと呆ける!」と、こちらの言葉は聞き入れてもらえず、数週間様子を見てみると、何度も買い物の失敗をしたあとに、娘さんのほうから、なんとかならないかルパーに相談があり、私たちがお母さんと一緒に買い物に行くことで、渋々了承して頂きました。

そうして、お母さんの介護も担う事となりました。

この家でのお母さんの役目は娘さんとお父さんの間に入って仲を取り持つことのようなのだ。お父さんは娘さんを見ると、怒り出します。お母さんはその事を私たちに、「ごめんね」などと、申し訳なさそうに謝ってこられます。お父さんの食事の準備などはお母さんの役目です。初めて訪問してからしばらく経ったころ、お母さんも2階の奥の小さな4畳半の部屋にベッドを置き寝ている事に気がつきました。

1階の居室は、娘がすべて使っているようだ。1階の居室はリビングと洗面所以外私たちは立ち入れず、そっと奥を覗くと大きなグランドピアノがあり、いろんな荷物が積み上がっている。

洋裁や、編み物が趣味のようで、生地や毛糸もたくさんある。私たちに慣れてこられた頃には一心不乱に編み物をされている姿をみることもあった。

お母さんのお買い物は、週に2回です。歩いて15分のスーパーまで一緒にいく。

娘さんは重い米や牛乳なども平気で頼んでくる。シニアカートをひいてゆっくりといろんな話をしながら歩いて買い物に行く。

ヘルパーに「ごめんね、ごめんね」と何度も謝るお母さん、娘とは性格が全く違う。

「あの子があんなになったのは私のせい」と言われていたこともある。

そのことは深くは聞けませんでした。この買い物も長くは続きませんでした。

お母さんが階段から転倒し、腕を骨折し入院となる。

このことは後ほど、娘さんが突き飛ばした結果起きたのだと判りました。

…つづく